



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	15年末株価
NYダウ	18,543.53	191.48	1.04	0.60	6.42	17,425.03
NASDAQ	5,221.12	54.87	1.06	1.14	4.27	5,007.41
日経225	16,254.45	-0.44	-0.00	-1.90	-14.60	19,033.71
上海総合	2,976.70	-5.73	-0.19	-0.09	-15.89	3,539.18
滬深300 (CSI300)	3,205.11	3.82	0.12	0.04	-14.10	3,731.01
ハンセン	22,146.09	313.86	1.44	-0.13	1.06	21,914.40
H株	9,131.52	126.90	1.41	0.54	-5.48	9,661.03

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.2%高と反発、上海総合指数は0.1%安

香港市場は2日が台風接近で休場のため4日間の取引。ハンセン指数は4日間で1.2%高と反発した。1日は年内の米利上げ観測の後退を好感した買いで3日ぶりに反発。休場をはさみ3日は欧米株安と原油先物相場の下落を受けてほぼ全面安となったが、その後は英中央銀行による大規模な金融緩和の決定を受け、世界的な金融緩和スタンスの継続を見込む買いが膨らんだ。本土市場では上海総合指数が1週間で0.1%安と小幅ながら3週連続下落。週初は景気先行き懸念で下落スタートとなったが、その後は持ち直す展開となった。

今週の展望:香港市場はもみ合いの展開か、中国の経済指標発表に注目

香港市場はもみ合いの展開か。英中央銀行による大規模金融緩和や米労働市場の改善など外部環境が追い風になると思われるが、今週は中国の経済指標の発表が相次ぐことから結果を見極めようと慎重姿勢が強まりそうだ。弱い結果の発表が続くようであれば景気の先行き懸念が相場の重しになる公算が大きい。一方、本土市場は上値の重い展開が見込まれる。中国政府が資産バブル抑制に向けて引き締めを強化する方針を打ち出す中、中国人民銀行による追加金融緩和への期待が後退していることが引き続きマイナス材料。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 HSBC(00005)	53.50	5.31
2 電能実業(00006)	76.75	2.27
3 長江インフラ(01038)	70.15	2.26
4 中国建設銀行(00939)	5.38	2.09
5 華潤置地(01109)	19.88	2.05
6 レホグループ(00992)	5.14	1.78
7 中国銀行(03988)	3.27	1.55
8 長江和記実業(00001)	92.50	1.54
9 交通銀行(03328)	5.37	1.51
10 中国工商银行(01398)	4.48	1.13

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 リー&7ン(00494)	3.68	-7.07
2 信和置業(00083)	13.66	-3.67
3 ハンセン銀行(00011)	134.00	-3.67
4 CNOOC(00883)	9.24	-3.35
5 ワーフ(00004)	52.20	-3.33
6 中国旺旺(00151)	4.76	-3.05
7 招商局国際(00144)	22.25	-3.05
8 恒隆地産(00101)	16.54	-2.82
9 太古A(00019)	90.90	-2.73
10 Link REIT(00823)	56.80	-2.57

▼今週の主なイベント

- 8月9日(火)
 - 【中国】CPI, PPI(7月)
- 8月12日(金)
 - 【中国】固定資産投資(1-7月)、小売売上高、鉱工業生産(7月)
 - 【香港】GDP速報値(4-6月)

▼今週の期待材料

- ◆7月の米雇用統計で非農業部門の雇用者数が市場予想の18万人増を上回る25万5000人増に
- ◆英中央銀行が政策金利を7年ぶりに引き下げ、大規模金融緩和で世界的な金融緩和スタンス継続
- ◆上海市の国有企業で構成されるETFの募集金額が152億元を突破、国有企業改革の進展期待が継続

▼今週の懸念材料

- ◆中国政府が資産バブルの抑制を今年下期の重点課題に設定、引き締め強化への警戒感が強まる公算
- ◆国家発展改革委員会が公式サイトに掲載した追加金融緩和の提言を削除、追加金融緩和期待が後退
- ◆12日に中国の固定資産投資など主要経済指標発表、景気減速が意識されれば相場の重しになる公算

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ HSBC (00005) : 最大25億米ドルの自社株買い計画を発表、株価の下支え要因に
- ☆ 世茂不動産 (00813) : 7月の不動産販売額は26%増と好調、1-7月は11%増
- ☆ 龍源電力 (00916) : 7月の発電量は17%増の282万6700MWh、1-7月は7%増
- ☆ TCLマルチメディア (01070) : 12日に6月中間決算を発表、市場予想は15%増益
- ☆ 広州汽車集団 (02238) : 7月の自動車販売台数は37%増加と好調、1-7月は30%増
- ◇ 万科企業 (02202) : 中国恒大集団が株式4.7%を取得、支配権争いが複雑化
- ★ 三一重装国際 (00631) : 6月中間決算は赤字転落の見通し、石炭業界の低迷響く
- ★ 華潤セメント (01313) : 6月中間決算は83%の大幅減益、セメント価格の下落響く
- ★ 香港証券取引所 (00388) : 10日に6月中間決算を発表、市場予想は32%減益
- ★ パークソン (03368) : 6月中間決算は赤字拡大の見通し、消費低迷で売り上げ減少

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。